

令和7年度第3学年進学指導年間計画

愛知県立国府高等学校進学指導部

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
進路指導方針		志望校の絞り込みを行わせる。			基礎力を固め、進路選択への自信を持たせる。			基礎力を応用力へと発展させながら、志望校をめざす実践力を養わせる。				生徒一人一人の状況に応じたきめ細かい指導を行う。		
具体的指導		＊最新の大学・入試情報や自分の成績（実力養成テスト・校外模試）などを考慮して、志望校の絞り込みを行わせる。 ＊明確な進路希望を強く持つことが夢実現の鍵であることを理解させる。 ＊6教科・3教科の受験科目に迷いが生じやすいので、きめ細やかに面談をする。 ＊生徒と保護者の意見の隔たりがないように、保護者面談を利用して確認をする。			＊実際にどのような勉強ができるのかを自分の目で確認するため、大学に行かせたり、オープンキャンパス等に参加させる。 ＊第1志望校に向けての学習計画を立てさせ、夏休みの学習に専念させる。 ＊オープン模試を積極的に受けさせ、慣れさせると同時に意識を高揚させる。			＊時期ごとにすべきことを明確にし、一步一步着実に勉学に励むよう導く。 ＊初めは（国公立）2次試験対策から取り組み、次第に共通テストの形式に慣れるよう共通テスト対策を取り入れる。 ＊この頃は志望校に対する迷いが生じる時期なので、「最後まで諦めずに取り組む強い意志」を持ち続けるよう導く。 ＊「早く合格を決めたい」という焦りが出ないように、クラス・学年の雰囲気作りに注意し全体の引き締め心掛け。 ＊試練を乗り越えさせることで、強くたくましく生きる力を育成するよう心がける。				＊共通テスト結果の良し悪しのみならず左右されず、落ち着いて国公立大学へ出願できるように導く。 ＊共通テスト終了後の解放感で、全体の集中力がとぎれがちになるので、再度引き締めを図る。 ＊私大受験・結果発表等、進路決定者が出始めても、その雰囲気左右されず、国公立後期試験まで、落ち着いた受験ができるように配慮する。		
進路指導項目	校内・学習	第1回実力養成テスト 前期課外開始			夏休み課外	夏休み課外	第2回実力養成テスト	後期課外開始			冬休み学習会 校内共通テストプレ	冬休み学習会 校内共通テストプレ	卒業式	
	校外模試		第1回全統記述模試 大学入学共通テスト模試		進研模試 (オープン模試)	第2回全統共通テスト模試 (オープン模試) 第2回全統記述模試	進駿共催模試 (看護医療模試)	第3回全統記述模試 第3回全統共通テスト模試	(小論文模試) 全統共通テストプレ	(駿台共通テストプレ)	大学入学共通テスト 私立大学入試	私立大学入試 国公立前期試験	私立大学入試 国公立中期試験 国公立後期試験	
	保護者		保護者進路説明会		保護者個別懇談会					保護者個別懇談会				
	講演会・説明会				進路講演会									
	調査等	進路希望調査		共通テスト受験ガイダンス				指定校推薦		公募推薦	公募推薦	公募推薦	大学入学共通テスト直前指導	
	その他	新旧担任伝達会		進路検討会						進路検討会			進路検討会	
生徒の活動		【進路】 自分の志望校に関して、成績や保護者との合意といった現実面を考慮して第一志望大学を決定する。 【進路】 入試本番までのスケジュールについて理解する。 【進路】 最新の大学・入試情報など、志望校決定の判断基準となる情報を得る。 【学習】 志望校のレベルと自分の成績のギャップを認識し、得意科目の伸張と弱点補強を行う。			【進路】 勉強したいことが本当に志望校で学べるのかを、オープンキャンパスを利用して確認する。 【学習】 夏休みで、今まで学んだ範囲の基礎固めを終了し、志望校の過去問などに取り組み、対策をスタートする。また小論文対策も開始する。			【進路】 最後まで第一志望校をあきらめないよう、モチベーションを高く保つ。 【進路】 併願校の決め方や奨学金の受け方など、受験に関する現実的な情報をつかむ。 【学習】 11月までは二次（個別）・私大対策の、12～1月は共通テストの対策を中心に学習を組み立てる。マーク方式の試験勉強だけに陥らないように、しっかりと記述力を身に付けさせる。				【進路】 共通テストに落ち着いて全力を発揮できるように、普段からの生活を整える。 【進路】 国公立後期まで気を抜かず頑張りきる。 【進路】 私大の後期（2次・2期）試験出願を、慎重かつ適切に行う。		